

「令和六年新年ご挨拶」

奈良県 知事 山下 真



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

奈良県中小企業団体中央会におかれましては、平素より中小企業組合の連携組織をはじめとする県内中小企業・小規模事業者の発展・活性化に取り組む団体として、本県産業の振興に多大なご貢献をいただいておりますことに敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

現在、県内の経済情勢は、奈良財務事務所が10月に発表した奈良県内経済情勢報告によると、総括判断として「持ち直している」となっています。一方で、先行きのリスク要因として「物価上昇、金融資本市場の変動等」が挙げられており、皆様におかれましては、原材料費及びエネルギー価格の高騰、人手不足等の供給面での制約など、依然厳しい状況にあるものと認識しております。

このような先行きが不透明な状況

を受け、県といたしましても、制度融資による資金繰り支援、県内産業の国内外への販路拡大及び研究開発支援の強化など、県内経済基盤の底上げを図るべく様々な施策により中小企業・小規模事業者の皆様を支援しています。

さらに、物価高騰を克服するための支援として、様々な分野について、昨年は、6月補正予算以降、9月、12月と切れ目なく補正予算を計上し、事業を実施しているところです。

また、豊かで活力ある奈良県を創るため、経済・産業分野においては、県内企業が有する課題・ニーズを直接職員が聴き取り、「新しい産業政策」の方向性について、昨年12月に公表いたしました。今後、「人材確保の抜本的強化」「用地確保と先進的なグリーン化」「生産性向上と新規事業への強力な支援」「行政対応の不満・ボトルネック解消」「新たな成長のフロンティア（海外展開）」「重点的な外国人材の呼び込み」「企業価値を次世代につなぐ事業承継」「スタートアップへの新たな支援」の8つの柱を核とした新しい取組を展開してまいります。

中小企業の各組合は、共同事業を

通じて、技術・情報・人材など、個々の企業では不足する経営資源の相互補完を図る素晴らしい仕組みであり、今こそ、その強みを発揮される時です。

本県といたしましても、地域経済の活性化及び発展を目指し、引き続き全力で取り組んでまいりますので、奈良県中小企業団体中央会及び中小企業・小規模事業者の皆様方におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、奈良県中小企業団体中央会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

